

信号のない交差点での事故防止のポイント

どうして交差点での事故が発生するのか？

2大原因！

ドライバーの
見込み違い
錯覚！



相手車両が止まって見える

同じ交差点に向かって同時に同じ速度で接近
⇒お互いから見た位置が変わらず止まって見える

交差道路の道幅を錯覚

道路幅が同じような交差点は、お互いに自車が優先
道路を走っている感覚になる

ドライバーの
過信！



一時停止が不十分

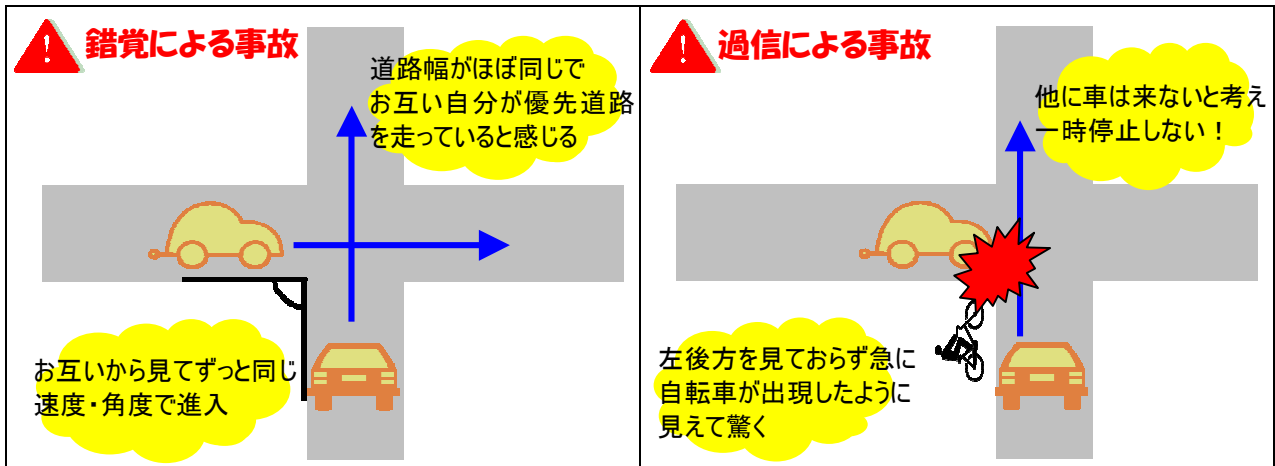
左右から車は来ないと勝手に思い込む

後方未確認

左後方から来るバイクや自転車等を見落とす

スピードの出し過ぎ 安全確認を怠る

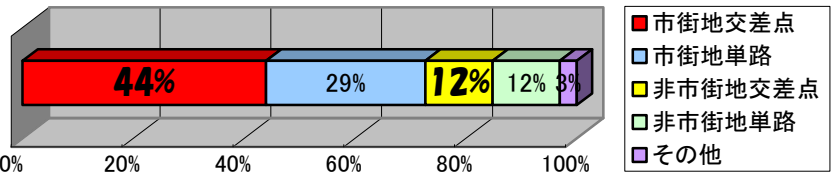
自分の都合の良いように思い込む



市街地交差点での交通事故は全事故の **44%**

非市街地交差点の 12% をあわせると、
なんと **60%** が交差点での事故！
交差点での事故がいかに多いかわかる。

平成 20 年交通事故場所別件数（警察庁統計）



交差点の事故を防止するポイント

- 一、 交差点に近づいたら必ず減速！
- 一、 一時停止場所では、完全一時停止、左右の安全確認
- 一、 ゆっくりと車両の頭を出し、もう一度停止し、左右の安全確認をしっかりと
- 一、 頭の位置を動かしてピラーの死角になる場所も確認
- 一、 優先道路を走っている場合でも、相手が止まってくれるとは限らない事を承知しておく
- 一、 相手車両に自車の存在をアピールするために、必要があればヘッドライト点灯



よく見て！錯覚と過信を排除

早いスピードで運転をしていたら、周りをよく見る事ができない。
交差点ではスピード落として状況をよく観察しましょう。